

令和8年5月1日（金）

変化に対応し、豊かな感性を育む学校を目指して



ないとうしんいちろう

稲沢北小学校長 内藤 伸一朗

春の暖かな日差しが溢れる4月8日（水）、保護者、5・6年生、教職員に見守られる中、令和8年度入学式が執り行われました。新1年生44名の子どもたちは、どの子も背筋をピンとさせ、少し緊張した面持ちで式に臨み、自分の名前が呼ばれると、元気な声で「はい！」と返事をしてくれました。令和8年度は、15学級、299名でのスタートでした。

今年度は、目指す児童像を、「他者と協働しながら自分の考えをもち、自信をもって行動する児童」としました。これは、変化の激しい世の中に柔軟に対応できる資質や能力を育てるためです。そして、目指す学校像として、「元気な声と笑顔があふれる学校」を実現していきたいと思います。

今年度から、稲沢市ではタブレット端末が更新され、生成AIの利活用も本格的に始まろうとしています。私たち教職員も、これらの変化に対応するために、事前準備や研修を行っています。社会が私たちの想像を超える変化をし続ける以上、学校もその変化に対応していくように努めてまいります。

その一方で、子どもたちの言語能力や想像力を豊かにするために、読書活動も充実させていきたいと考えています。幸い、本校ではボランティア団体として「きらら会」の読み聞かせや「ずくぼんじょ」の語りを子どもたちは継続して聞かせていただいております。非常に恵まれた環境で子どもたちは育っています。学校でも、図書室や学年・学級文庫の利用を通して、子どもたちが少しでも本に触れ、豊かな感性を育てていけるよう努めてまいります。

地域や保護者の皆様には、日頃から様々な機会や場所で子どもたちを見守っていただいております。大変感謝しております。今後とも稲沢北小学校の教育活動に対しまして、これまでと変わらぬご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。